

第2期大船渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中から、

大船渡への新しい人の流れをつくる 取り組みを紹介します

若者が大船渡へ移住し、活躍しています！ 「地域おこし協力隊」紹介 根本大介さん

地域おこし協力隊制度とは？

都市地域から過疎地域などに住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし支援や、農林水産業への従事など多様な分野の地域協力活動を行いながら、定住・定着を図る取り組みです。

本市においても、人口減少により地域の担い手の確保が課題となる中、この制度を「地域活性化」と「移住・定住」の両面を促進するための手段として活用しており、現在4名の隊員が活動しています。

ラグビーと友情が 繋いだ大船渡への移住

もともと地方へ移住したいと考えていた根本さん。大船渡に移住した理由を聞くと、「学生時代に、ラグビーで苦楽を共にした親友がいる大船渡には、観光で何度も訪れていたが、港町ならではの景色や、海鮮のおいしさ、そして、人の温かさに魅力を感じ、より一層大船渡に惹かれた」とのこと。

しかし、勤務先の京都に戻ると「大船渡」を知る人はあまり居なかったそうで、「こんなにも魅力にあふれている大船渡が、全国的に知名度が低いことはもったいない」と感じ、移住を決意。



profile
根本大介さん/神奈川県生まれ。学生時代は東京で暮らし、京都の証券会社に就職し、2年勤務した後、2020年11月に大船渡に移住。小学生からラグビーを始め、今でも現役。

現在は、SNSなどを通じ、大船渡の魅力や全国に発信する活動をしており、「大船渡にこそ、都会の人がワクワクする価値があると思っています」と話してくれました。

いろいろなことに日々精進！

地域の仲間と農業活動に参加する中、鹿のハンターと出会い、猟に参加させてもらうことに。次第にのめり込み、第一種猟銃免許とわな猟免許を取得しました。駆除で失う鹿の命を無駄にしないためにも、「鹿」を大船渡の資源にしていきたいと考えているそうです。市が抱える鹿などの鳥獣被害の問題もとても気になっています。

その一環で、「ジビエ研究会」を立ち上げるなど着々と活動を進めており、今後も猟友会と連携した取り組みを進めていきたい」と意気込んでいました。



移住を支援する制度を紹介します

移住支援金

東京圏から大船渡市に移住し、就業などの要件を満たした人に移住支援金を支給しています。

※東京圏とは、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県のうち条件不利地域を除く地域

▽支給金額 単身60万円、2人以上の世帯100万円

※4月1日以降に転入した人で、世帯の中に18歳未満の子がいる場合、その子1人につき30万円を加算します。

▽対象 ①

・移住元要件 大船渡市への移住直前の10年間のうち、通算5年以上、さらに直近1年以上、東京23区内に在住または東京圏から東京23区へ通勤・通学していた人

・移住先要件 ①および②

⑥のいずれかに該当する人

①大船渡市へ住民票の異動を伴って転入した人

②岩手県が運営するマッチングサイト(シゴトバクラシバいわて)に移住支援金の対象として掲載する求人へ新規就業した人

③岩手県から起業支援金の交付決定を受けた人

定を受けた人

④移住元の業務を引き続きテレワークで実施する人

⑤専門人材の人

⑥関係人口要件を満たす人

▽申請期間 就業から3カ月が経過し、かつ、転入から3カ月以上1年以内

▽その他 ①詳しくは、市ホームページを確認ください。

▽問い合わせ先 商工課労政係(☎内線111)

新規学卒者等

就職奨励金

▽対象 就職した年度の4月1日現在の年齢が35歳未満で、市内の事業所に「常用雇用者」として就職した新規学卒者またはU・I・Jターナー者

※過去に交付を受けた人は対象外

▽奨励金額 1人につき、商品券6万円分

▽申請期間 雇用された日から6カ月経過後

※就職した日から1年6カ月経過した場合、申請できません。

▽問い合わせ先 商工課労政係(☎内線111)

若者・移住者

空き家取得奨励金

▽対象者 ①、②のどちらかで、大船渡市空き家バンク制度を利用し、空き家バンク登録物件を取得した人(取得した空き家に5年以上継続して居住する意思があるなど、諸条件あり)

①若者世代(令和4年4月1日時点で39歳以下の人)

②岩手県外からの移住者

▽交付金額 30万円

※空き家の取得価格が30万円に満たない場合は、取得価格相当の額(1万円未満切捨て)

▽その他 予算額に達し次第、受け付けを終了します。

・空き家バンク活用奨励金との併給はできません。

・詳しくは、市ホームページを確認ください。

▽問い合わせ先 企画調整課企画係(☎内線229)

空き家バンク活用奨励金

大船渡市空き家バンクを利用して、売買または賃貸借契約を締結した人に対し、奨励金を交付します。

大船渡での主な活動を紹介します

シニア向けスマホ教室

不定期ではありますが、大船渡市ふるさとテレワークセンター(盛町字馬場/盛中央団地内)をはじめ、市内各地で「シニア向けスマホ教室」を開催しました。

定員を少なくし、1人1人に手厚く指導することを心掛けながら、主にLINEの使い方などの講義を行いました。教室後には、受講いただいた皆さん同士で教え合うきっかけや繋がりが生まれたほか、感謝の言葉もいただくなど、今までに感じたことのない達成感がありました。



市内企業の情報発信を応援

市内には魅力ある企業がたくさんあります。企業に興味を持った場合、まずはホームページを検索するため、入り口であるホームページのレイアウトをこだわることで、その企業に対する印象がとても良いものになります。

Webでの情報発信にお困りの人は、気軽に相談ください。



制作をお手伝いしたホームページ

私たちが移住を支援します！

大船渡市移住コーディネーター



～お気軽に相談ください～

▷問い合わせ先=企画調整課(☎内線229)

【Eメール】ofu_ijuu@city.ofunato.iwate.jp